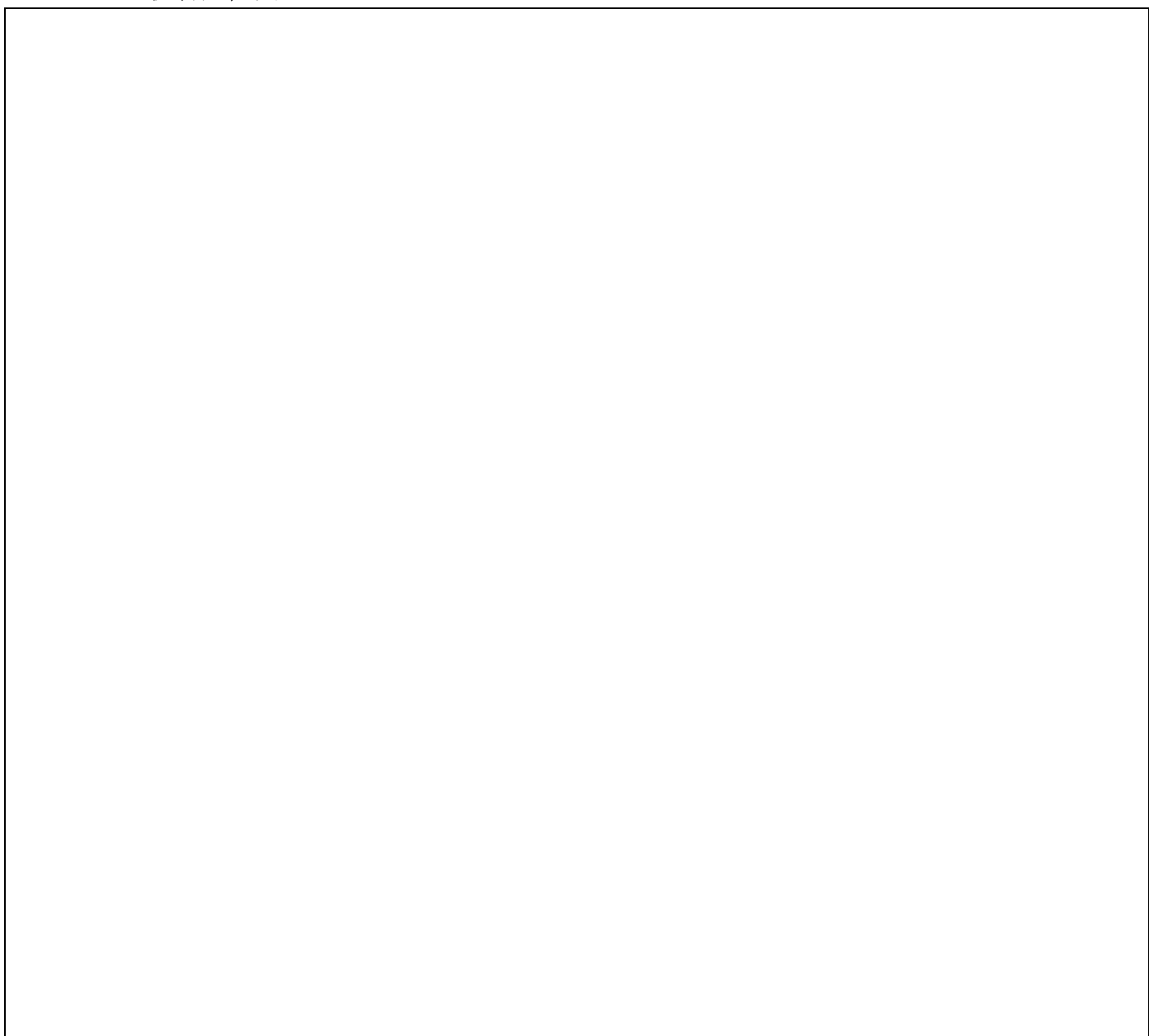


平成28年度

千葉市教育研究会 10月例会

開催日：平成28年10月18日（火）
提案校：千葉市立土気南中学校英語科
展開学級・授業者：第3学年A組 穂積 央寿
第3学年C組 大杉 陽子
協議会場：図書室
時 間：授業展開 14：00～14：50
研究協議 15：00～16：30

校舎配置図：



平成28年度 英語科研究計画

目指す生徒像

自律・・・理性を持って自分の意志を貫く生徒
 創造・・・豊かな心と創造性をもって夢を追及する生徒
 母校愛・・・母校を愛し、地域を愛し、友を愛する生徒

学校研究主題

資質・能力・学力の向上に関する研究
 ～言語活動の工夫を通して～

- ・教科を超えて共通に求められる汎用的な力の育成やその活用を図る。
- ・学習内容を精選、重点化し、言語活動を充実させるための実践・検証・見直しを行う。
- ・生徒が学習を通して得た考えを発表するための方法や機会の持ち方、コミュニケーションの仕方を工夫する。

英語科研究主題

自らの考えや思いを発信できる生徒の育成
 ～4技能を関連付けて活用する言語活動の工夫を通して～

研究への取り組み

研究の内容	研究の方法
言語材料を理解し、練習する活動を十分に行い、自らの考えや思いを表現する基礎的スキルや語彙・文法の知識・理解が身に付くようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒に身につけさせたい力をリストアップし、年間及び各単元の指導計画を作成する。 ・音読や短い日常会話、英語読書などの帯活動を実践し、基礎基本を定着させる。 ・基礎的な知識や表現方法が身に付くよう指導方法を工夫する。(教科書 GET, USE Listen, USE Read, Let's Listen, Let's Talk, Let's Read など) ・聞いたことや読んだこと、わかったことをアウトプットしながら授業を展開する。 ・ペア学習などのアクティブ・ラーニングの手法を取り入れる。
自分の考えや思いを伝え合う言語活動を積み上げることで表現スキルを磨き、自信をもって発信できるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な表現活動を実践する。(Practice の Speak や Write, USE Speak, USE Write など) ・Project の単元で、積み上げたスキルを統合的に結び付けて指導し、学習成果を検証する。

研究の年間計画

※月曜日4時間目に必要に応じて教科部会を実施

月	前期研究内容	月	後期研究内容
4	研究計画・年間指導計画・前期評価計画の作成	10	授業実践・千葉市教育研究会にて提案
5	授業実践(外国人講師の活用を中心に)	11	授業実践・検証授業
6	授業実践・全学級で暗唱発表会を実施	12	授業実践・全学級でスピーチ発表会を実施
7	授業実践(外国人講師の活用を中心に)	1	研究内容の整理とまとめ
8	自己研修・校内研修・千葉市英語発表会準備	2	研究紀要の作成
9	前期のまとめ・後期の評価計画の作成	3	来年度の研究計画・学習指導計画の見直し

英語科学習指導案

3年A組 指導者 穂積 央寿

3年C組 指導者 大杉 陽子

1 単元名 Lesson 5 “Places to Go, Things to Do”

NEW CROWN ENGLISH SERIES New Edition 3

2 単元について

(1)目標および評価規準

①自らの考えや思いについて、内容が聞き手に伝わるように話すことができる。

(イ 外国語表現の能力)

②自らの考えや思いについて、Opening, Body, Closing の構成で原稿を書くことができる。

(イ 外国語表現の能力)

③他者の考えや思いを聞いたり、読んだりして理解することができる。

(ウ 外国語理解の能力)

④間違いを恐れず、自らの考えや思いを相手に伝えることができる。

(ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

⑤言語材料に関する知識や文法を身に付けることができる。

(エ 言語や文化についての知識・理解)

(2)単元観

本単元では、登場人物たちが、それぞれの訪れたい国や場所と、そこで何を体験したいのかが発表やスピーチの形式で紹介されている。インターネット等によるグローバルな情報網の広がり、物理的には遠い外国の生活や文化が身近なものに感じられる世の中になってきた。また、今年8、9月に開催されたリオデジャネイロでのオリンピック、パラリンピックが、4年後にはわが国にやって来る。現中学3年生は、社会人や大学生となって、この世界的な祭典を体験するチャンスに恵まれている。近い将来への夢や期待を抱かせつつ、写真や動画などを活用し、異国や異文化への好奇心を掻きたてたい単元である。

登場人物たちが、それぞれに本、DVD、絵葉書を手元に発表する姿は、自分の考えや気持ちなどを伝える言語活動の手本となるようにし、最終的なスピーチの発表でも、姿勢や視線などを工夫して自分の考えや思いを積極的に発表できるように指導する。

また、本単元では、GETやUSE Readの文中で関係代名詞が扱われている。内容を理解したうえで、その状況や人物の思いなどが表現できるよう朗読や暗唱をさせることで慣れさせていきたい。さらに、できるだけ多くの文例を聞いたり話したりすることで、話題となっている名詞を最初に紹介し、それらがどういう状態であるかを、あとから叙述する用法であることを理解させるようにし、スピーチの原稿でも使えるように指導する。

3 生徒の実態

(1)英語学習への取組

落ち着いた学年で、学習意欲が高い。1、2年時の英語発表会の代表選考の際、30人前後が名乗りを上げるなど積極的な態度が見られた。3年生になって間違えることへの羞恥心のためか、発表の声が小さくなったり、照れたりすることもあるが、円満な人間関係を基盤に授業への取組は良好である。4月から7月ま

でのフィリピン人の ALT 訪問に加え、7月には体験入学としてフランスからの女子生徒と、土気高校に留学していたアメリカ人の高校生が3年生の学級に配属された。彼らを温かく迎え、授業や諸活動での触れ合いを通して、異文化への興味・関心を高めることができた。

(2)英語学力状況調査より (昨年度11月実施)

総 合		リーディング		リスニング	
スコア	人 数	スコア	人 数	スコア	人 数
1051~1100	52	526~550	36	526~550	80
1001~1050	42	501~525	26	501~525	47
951~1000	38	476~500	38	476~500	22
901~ 950	17	451~475	32	451~475	9
851~ 900	11	426~450	17	426~450	6
801~ 850	4	401~425	7	401~425	1
751~ 800	1	351~400	9	351~400	0
300~ 750	1	300~350	1	300~350	1

英検 IBA では、3級レベル 35.6%、4級レベル 37.3%、5級レベル 23.5%、5級受験レベル 3.6%という結果であった。リスニングの力は高いが、この時点ではリーディング力がそれに追いついていない。

(3)授業展開学級の実態

①A組 (男子18名 女子18名 計36名)

全体的に穏やかな雰囲気のある学級である。学習課題に前向きに取り組むが、個々の学力差が大きい。音読練習ではそれぞれがよく練習しているが、即興的な会話や人前で発表をすることに自信がもてない生徒が多いので、学習形態や発表方法を工夫する必要がある。また、ペアやグループでのコミュニケーション活動を苦手としている生徒が一人おり、活動によってはふさぎ込んでしまうことがあるので、ペアリングや指名方法などで精神的負荷がかからないよう配慮をし、活動に参加させるようにしたい。

②C組 (男子17名 女子18名 計35名)

全体的に前向きな学習態度が見られるが、積極的に活動する生徒とそうでない生徒の相違がややはっきりとしている。そのため発言する生徒は限られている傾向がある。積極的に取り組めない生徒については、これまでの学習内容がよく理解できず自信がもてない部分があると思われるので、状況に応じて手助けを必要とする。またペアやグループワークに関しては、普段あまり話す機会がない人とも話せる点が良いという声が生徒から聞かれたことがある。全体では話しづらい場合も、少人数の中であれば言葉を発しやすいと思うので、各自が積極的に活動に参加できるよう促していきたい。

4 指導と評価の計画 (13時間扱い)

時間	○ねらい ・学習活動	目標(評価基準)	評価方法
①	○本単元で身につける技能や理解する内容を知る。 ・外国の観光地等の写真を見ながら、リード文を聞き、この単元で学ぶことを知る。 ○関係代名詞(主格)that を用いた文の構造を理解する。 ・関係代名詞(主格)that を用いた文の構造を知る。 ・関係代名詞(主格)that の文を使えるよう練習する。	④ ⑤	後日ペーパーテスト

②	<p>○教科書 Get 1 の本文の内容を理解し、音読をする。</p> <p>○関係代名詞を用いた英文を聞いたり、話したりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 健とエマの理想の家に関する会話の内容を聞き取る。 ・ 自分の理想の家についてペアやグループで話す。 	④ ⑤	後日ペーパーテスト
③	<p>○Get 1 の久美の発表内容を、英語で retelling する。</p> <p>○関係代名詞(主格)who/which の用法を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 関係代名詞(主格)who/which を用いた文の構造を知る。 ・ 関係代名詞(主格)who/which の文を使えるよう練習する。 	④ ⑤	後日ペーパーテスト
④	<p>○教科書 Get 2 の本文の内容を理解し、音読する。</p> <p>○関係代名詞を用いた英文を聞いたり、話したりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ポールと母親の会話を聞き、その内容を理解する。 ・ 人物や職業を英語で説明しあう。 	④ ⑤	後日ペーパーテスト
⑤	<p>○Get 2 のラージの発表内容を、英語で retelling する。</p> <p>○関係代名詞(目的格)that/which を用いた文の構造を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 関係代名詞(目的格)that/which を用いた文の構造を知る。 ・ 関係代名詞(目的格)that/which の文を使えるよう練習する。 	④ ⑤	後日ペーパーテスト
⑥	<p>○教科書 Get 3 の本文の内容を理解し、音読する。</p> <p>○関係代名詞を用いた英文を聞いたり、話したりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 久美とブラウン先生の会話を聞き、その内容を理解する。 ・ 学校の教室や施設についてペアで話し合う。 	④ ⑤	後日ペーパーテスト
⑦	<p>○Get 3 のメイリンの発表内容を、英語で retelling する。</p> <p>○USE Read “Brazil”の内容のおおすじをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ あたえられたタスクに答える。 ・ 第1、第2段落の音読練習をする。 	③ ④	ワークシート
⑧	<p>○USE Read “Brazil”の細かい内容をおさえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ あたえられたタスクに答える。 ・ 第3段落の音読練習をする。 	③ ④	ワークシート
⑨	<p>○USE Read “Brazil”の内容を整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ あたえられたタスクに答える。 ・ 第4、5段落の音読練習をする。 	③ ④	ワークシート
⑩ 本時 A組	<p>○関係代名詞の復習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本単元で学習した関係代名詞を、まとめて使えるように聞いたり話したりして練習する。 <p>○さまざまな国や地域のスポーツ、食事、動物、名所について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 興味のある国や地域について興味をもって調べようとする。 	① ④	ワークシート
⑪ 本時 C組	<p>○Use Speak のエマのスピーチを読む。</p> <p>○自分が調べた場所と、そこでできることについてメモをもとにペアやグループで情報交換をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の行きたい場所、したいことを積極的に伝えあう。 	① ④	ワークシート

⑫	<p>○メモをもとに、行きたい場所についてスピーチ原稿を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアやグループで互いの書いた原稿を読みあい、よりよい内容になるよう助言しあう。 ・関係代名詞が適切に使えているか友人や教師と確認する。 	② ④	ワークシート
⑬	<p>○姿勢や視線を工夫して、スピーチの練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これより先の授業の帯学習で、発表練習をする。 ・グループでリハーサルをし、発表の観点をもとに、よりよいスピーチができるよう共同学習する。 ・2週間後に、学級内発表会を実施する。 	① ④	活動の観察

話すこと(発表)：自分で調べた内容について、英語で作成した資料を見せながら発表することができる。

↑

↑

Project 2 「日本文化を紹介しよう」 Show & Tell

↑

↑

Lesson 5 “Places to Go, Things to Do” の単元の目標

行きたい場所とそこでしたいことについて、関係代名詞（主格・目的格）を適切に用いて、内容が聞き手に伝わるようにスピーチをすることができる。 (イ 外国語表現の能力)

↑

USE Speak

メモをもとに、スピーチの原稿を書く。クラス発表に向けて、スピーチの姿勢や視線を工夫する。

↑

行きたい場所と、そこでしたいことについて、メモを見ながら発表することができる。

↑

USE Read	音読練習を十分に行い、ケンがブラジルでしたいことについて、各段落のトピック(soccer, carnival in Rio de Janeiro, Japanese-Brazilians)を整理し、簡単なメモを参考に要点を説明することができる。
GET Part③	・家庭や学校の施設や設備について、関係代名詞を用いて説明できる。 ・メイリンの発表内容について、写真を見せながら説明できる。
GET Part②	・自分の持ち物や好きな人物について、関係代名詞を用いて紹介できる。 ・ラージのあこがれの人物について、写真などを見せながら紹介できる。
GET Part①	・住んでみたい住居の簡単なイラストを見せながら、関係代名詞を用いて話すことができる。 ・クミの行きたい国とそこでしたいことを、写真を見せながら説明できる。

↑

↑

↑

※毎時間の積み重ね学習（約10分～15分）

①簡単な物語のパラグラフ・リーディング（個人で読む → ペアもしくはグループで内容チェック）

- ・1回目は概要をつかむ程度の速読 → どんなことが書かれていたか。
- ・2回目はじっくり読む → 読み取れたこと・わかったことを英語で表してみる。

②スモールトーク

- ・あるトピックについて、2文以上で相手に伝える。（事実に加え、自分の感想や思いを含める。）
- ・話された内容について、問答をする。
- ・相づちやつなぎ言葉、さらに質問などを試みる。

③音読や暗唱

- ・USE Readの本文を朗読練習する。回数を重ねてきたら、暗唱に挑戦する。また、テキストを見ないで、本文の内容を説明する活動に発展させる。

英語科のスローガン

たどたどしくてもいい、事実として子どもが変容・成長する授業を目指そう！

（目白大学 多田孝志先生）

6 本時の指導

(1)A組 (10/13)

①本時の目標

(ア) 世界の有名な場所やものについて、関係代名詞を用いて説明することができる。

(イ 外国語表現の能力)

(イ) 自分の行きたい国について積極的に考え、相手に伝えることができる。

(ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

②本時の展開

過程	学習内容と活動	指導上の留意点	評価
<p>挨拶 復習 (12分)</p>	<p>○挨拶をする。 ○リーディング ・ <i>How bear lost his tail</i> のチャプターを読む。 ・ 読み取れたこと、わかったことを英語で表し、ペアで内容チェックを行う。 ○音読練習 ・ USE Read の第1・2段落を徐々に目を話して読めるように音読練習を行う。 ・ ペアでお互いに聞き合う。 ○スモールトーク ・ トピックについてペアで話す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">Do you want to go to Brazil?</div></p>	<p>・ 2文以上で相手に伝えたり、話された内容について、問答するように促す。</p>	
<p>展開 (35分)</p>	<p><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto 10px auto;">世界の有名な場所やものについて英語で伝えよう。</div> ○本単元で学習した関係代名詞をいえるように口頭練習する。 ・ 世界の有名な場所やものについてパワーポイントの写真をしながら教師の英文を聞く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">ex) ・ Kabaddi is a sport that many Indians like. ・ Kimchi is food that you can eat in Korea. ・ Kangaroos are animals that you can see in Australia.</div> ・ 教師が示した例文を参考にして、パワーポイントの写真に出てくる世界の有名な場所やものについて口頭で文を作り、挙手をして発表する。できた文を教師の後に続いて言ってみる。</p>	<p>・ 下位の生徒でも理解できるようターゲットになる関係代名詞の文は画面に示す。 ・ 活動の手助けになるよう、関係代名詞節の部分をマスキングした文を画面に示す。</p>	<p>行動の観察 (目標ア)</p>

	<p>○さらに発展的な練習に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアのひとりが伏せ、もうひとりが教師のテレビに示す写真を見て、見ていない友人に関係代名詞を使ってそれが何かを伝える。伝えられた方はホワイトボードに答えを書き、教師に見せる。 <p>○自分の行きたい国や地域のスポーツ、食事、動物、名所について発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「日本」を例として、思い浮かぶ単語を発表する。 ・ワークシートに書かれたアイディアマップの中央の枠に自分の行きたい国の国名を書き、その国のスポーツ、食事、動物、名所等をブレインストーミングで書き起こす。 ・6人グループを作り、グループ内でワークシートを回し、他の生徒のアイディアマップにその国について知っていることを書き足していく。 ・自分のワークシートが戻ってきたら、できあがったアイディアマップをもとに行きたい国をグループ内で発表する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>Ex) France is the country that I want to visit. I can see the Eiffel Tower there.</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・間違いを恐れず積極的に伝えるよう働きかける。 ・生徒の回答を黒板に書き、ブレインストーミングでのまとめ方を示す。 ・英語で書けないものは日本語で書くように指示する。 ・速やかにグループが作れるように支援する。 ・班員全員が発表するように促す。 	ワークシート (目標イ)
まとめ (3分)	<p>○本時に学習した内容を確認する。</p> <p>次回は USE Speak に進み、再度メモを整理し、グループで互いの考えを伝え合うための活動することを予告する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本やインターネットを使って自分の行きたい国をもっと深く調べるように促す。 	

③本時の評価

(ア) 世界の有名な場所やものについて、関係代名詞を用いて説明することができたか。

(外国語表現の能力)

(イ) 自分の行きたい国について積極的に考え、相手に伝えることができたか。

(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

板書例

(2)C組 (11/13)

①本時の目標

(ア) 行きたい場所と、そこでしたいことについてメモをもとに相手に伝えることができる。
(外国語表現の能力)

(イ) 間違いを恐れず、自分の考えや思いを相手に伝えることができる。
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

②本時の展開

過程	学習内容と活動	指導上の留意点	評価
挨拶 復習 (12分)	<ul style="list-style-type: none"> ○挨拶をする。 ○音読 ・USE Read “Brazil”の第3段落をペアで1文ずつ読む。 ○パラグラフ・リーディング ・How bear lost his tailのチャプターの2つを読む。 ・読み取れたこと、わかったことを英語で表し、ペアで内容チェックを行う。 ○スモールトーク あるトピックについてペアで話す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・読むことを苦手としている生徒を支援する。 ・2文以上で相手に伝えたり、話された内容について、問答するように促す。 	活動の観察 (目標イ) 活動の観察 (目標イ)
展開 (33分)	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書 64 頁のエマのスピーチを読み、エマの行きたい場所と、そこでしたいことを伝えられるようにする。 ・エマのスピーチを黙読する。 ・エマのスピーチを聞き、発音を確かめる。 ・エマのスピーチを音読する。 ・内容に関する教師の英語の質問にペアで考える。何人か質問の答えを発表する。 ・エマの行きたい場所と、そこでしたいことについて教師の例文を聞く。 ・ペアでエマになったつもりで行きたい場所と、そこでしたいことについて話す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> メモを見ながら自分の行きたい場所と、そこでしたいことについて話そう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ○自分が前時に調べた場所についてメモを作り、口頭で練習する。 ・調べたことをもとに、行きたい場所とそこでしたいことについてメモを作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の答えをもとに、黒板にスピーチの内容についてのメモを作る。 ・話す時に、黒板のメモを参考にさせる。 ・必要に応じてメモを作成する手助けをする。 ・メモを作る際、関係代名詞を使った文を1つ入れられるよう、名詞に説明を加えるようにさせる。 	活動の観察 (目標ア)

	<ul style="list-style-type: none"> ・メモした内容を、ペアで英語で言う練習を行う。 ○ペアで練習した内容についてグループで情報交換をする。 ・行きたい場所とそこでできることやしたいことについて話す。 ○話した内容を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手が困っていれば教えるようにさせる。 ・できるだけ顔を上げて話すように声をかける。 ・相手の言ったことを繰り返すなど、相手の話を確認しながら聞くように促す。 	
<p>まとめ (5分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○本時に学習した内容を確認する。 ・情報交換の内容や自分の感想をワークシートに記入する。 ・次回スピーチ原稿を書くことを伝える。 		

③本時の評価

(ア) 行きたい場所と、そこでしたいことについてメモをもとに相手に伝えることができたか。

(外国語表現の能力)

(イ) 間違いを恐れず、自分の考えや思いを相手に伝えることができたか。

(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)